

表1 回答者の情報

N = 500		
	人数/平均値	%(SD)
性別		
男性	303	60.6
女性	197	39.3
職種別		
事務従事者	317	63.4
サービス職業従事者	125	25
生産工程従事者	58	11.6
職位		
グループ長相当	133	26.6
係長相当	137	27.4
課長相当	86	17.2
部長相当	22	4.4
その他	122	24.4
現職場での状況		
勤務年数(年)	14.4	(10.2)
部下の人数(人)	5.4	(8.7)
上司としての年数(年)	6.1	(6.4)

表2 現在の業務の特徴

N = 500		
特性	人数	割合 (%)
定型的な業務であるか否か		
定型的に近い	117	23.4
やや定型的に近い	223	44.6
どちらともいえない	83	16.6
やや非定型的に近い	56	11.2
非定形的に近い	21	4.2
繰り返しの多さ		
繰り返しに近い	128	25.6
やや繰り返しに近い	227	45.4
どちらともいえない	93	18.6
やや繰り返しが少ない	42	8.4
繰り返しが少ないほう	10	2.0
代替えの可能性		
代わりの人ができるに近い	44	8.8
やや代わりの人ができる	131	26.2
どちらともいえない	142	28.4
やや熟練者を要する	135	27.0
熟練者を要するほう	48	9.6
定型性と代替え可能性の組み合わせ *		
定型代替え可能	32	6.4
定型代替え中間	75	15.0
定型熟練	10	2.0
非定型代替え可能	12	2.4
非定型代替え中間	333	66.6
非定型熟練	38	7.6

表2-1 業務の特徴と職種の関係

	職業			合計	p
	事務	サービス 職業	生産工程		
定型代替 え可能	人数 23 7.3%	7 5.6%	2 3.4%	32 6.4%	< 0.000
定型代替 え中間	44 13.9%	14 11.2%	17 29.3%	75 15.0%	
定型熟練	5 1.6%	4 3.2%	1 1.7%	10 2.0%	
非定型代 替え可能	7 2.2%	3 2.4%	2 3.4%	12 2.4%	
非定型代 替え中間	223 70.3%	76 60.8%	34 58.6%	333 66.6%	
非定型熟 練	15 4.7%	21 16.8%	2 3.4%	38 7.6%	
合計	317 100.0%	125 100.0%	58 100.0%	500 100.0%	

表3 業務の特性(定型性)とPresenteeisの影響(業務への影響:インパクト)の関係

		N = 500		
		人数	平均値	P値
A.仕事(会議を含む) に集中できない	定型的に近い	117	4.79	0.004
	やや定型的に近い	223	5.71	
	どちらともいえない	83	5.64	
	やや非定型的に近い	56	5.29	
	非定型的に近い	21	6.19	
	合計	500	5.46	
B.仕事をするのに人 より多く休憩を必要と する	定型的に近い	117	5.15	0.189
	やや定型的に近い	223	5.69	
	どちらともいえない	83	5.66	
	やや非定型的に近い	56	5.36	
	非定型的に近い	21	5.52	
	合計	500	5.51	
C.できる仕事の量や 強度が少ない	定型的に近い	117	6.50	0.834
	やや定型的に近い	223	6.44	
	どちらともいえない	83	6.65	
	やや非定型的に近い	56	6.41	
	非定型的に近い	21	6.81	
	合計	500	6.50	
D.作業がはかどらず 仕事が終わらない	定型的に近い	117	5.74	0.041
	やや定型的に近い	223	6.38	
	どちらともいえない	83	5.75	
	やや非定型的に近い	56	6.04	
	非定型的に近い	21	6.10	
	合計	500	6.07	
E.仕事上の間違いや 失敗をする	定型的に近い	117	5.91	0.315
	やや定型的に近い	223	6.43	
	どちらともいえない	83	6.17	
	やや非定型的に近い	56	6.05	
	非定型的に近い	21	6.24	
	合計	500	6.21	
F.通勤での困難があ る	定型的に近い	117	4.64	0.461
	やや定型的に近い	223	4.93	
	どちらともいえない	83	4.67	
	やや非定型的に近い	56	4.89	
	非定型的に近い	21	4.00	
	合計	500	4.78	
G.職場でのコミュニ ケーションがとりにく い	定型的に近い	117	4.89	0.048
	やや定型的に近い	223	5.56	
	どちらともいえない	83	5.66	
	やや非定型的に近い	56	5.61	
	非定型的に近い	21	6.05	
	合計	500	5.45	
H.他の社員の手助け や援助が必要である	定型的に近い	117	5.72	0.196
	やや定型的に近い	223	6.22	
	どちらともいえない	83	6.30	
	やや非定型的に近い	56	6.00	
	非定型的に近い	21	6.52	
	合計	500	6.10	

業務への影響:まったく影響しない1~非常に影響が大きい10

表4 業務と特性(定型性)とPresenteeism(部課内で業務を調整する必要性)

N = 500

		人数	平均値	P値
A.仕事(会議を含む) に集中できない	定型的に近い	117	5.13	0.006
	やや定型的に近い	223	6.02	
	どちらともいえない	83	5.63	
	やや非定型的に近い	56	5.73	
	非定型的に近い	21	6.48	
	合計	500	5.73	
B.仕事をするのに人 より多く休憩を必要と する	定型的に近い	117	4.85	0.037
	やや定型的に近い	223	5.62	
	どちらともいえない	83	5.45	
	やや非定型的に近い	56	5.45	
	非定型的に近い	21	5.71	
	合計	500	5.40	
C.できる仕事の量や 強度が少ない	定型的に近い	117	5.39	0.221
	やや定型的に近い	223	5.90	
	どちらともいえない	83	5.73	
	やや非定型的に近い	56	5.86	
	非定型的に近い	21	6.14	
	合計	500	5.76	
D.作業がはかどらず 仕事が終わらない	定型的に近い	117	5.32	0.018
	やや定型的に近い	223	6.11	
	どちらともいえない	83	5.65	
	やや非定型的に近い	56	5.88	
	非定型的に近い	21	6.33	
	合計	500	5.83	
E.仕事上の間違いや 失敗をする	定型的に近い	117	5.68	0.611
	やや定型的に近い	223	6.04	
	どちらともいえない	83	5.83	
	やや非定型的に近い	56	5.93	
	非定型的に近い	21	5.43	
	合計	500	5.88	
F.通勤での困難があ る	定型的に近い	117	4.40	0.203
	やや定型的に近い	223	5.01	
	どちらともいえない	83	4.71	
	やや非定型的に近い	56	4.98	
	非定型的に近い	21	4.33	
	合計	500	4.79	
G.職場でのコミュニ ケーションがとりにく い	定型的に近い	117	4.53	0.001
	やや定型的に近い	223	5.52	
	どちらともいえない	83	5.45	
	やや非定型的に近い	56	5.46	
	非定型的に近い	21	6.19	
	合計	500	5.30	
H.他の社員の手助け や援助が必要である	定型的に近い	117	5.31	0.036
	やや定型的に近い	223	6.01	
	どちらともいえない	83	5.92	
	やや非定型的に近い	56	5.89	
	非定型的に近い	21	6.57	
	合計	500	5.84	

課内で業務を調整する必要性: 1~極めて低い 10~極めて高い

表5 業務と特性(定型性)とPresenteeism(他部門と業務を調整する必要性)

		N=500		
		人数	平均値	P値
A.仕事(会議を含む)に集中できない	定型的に近い	117	4.79	0.004
	やや定型的に近い	223	5.71	
	どちらともいえない	83	5.64	
	やや非定型的に近い	56	5.29	
	非定型的に近い	21	6.19	
	合計	500	5.46	
B.仕事をするのに人より多く休憩を必要とする	定型的に近い	117	5.15	0.189
	やや定型的に近い	223	5.69	
	どちらともいえない	83	5.66	
	やや非定型的に近い	56	5.36	
	非定型的に近い	21	5.52	
	合計	500	5.51	
C.できる仕事の量や強度が少ない	定型的に近い	117	6.50	0.834
	やや定型的に近い	223	6.44	
	どちらともいえない	83	6.65	
	やや非定型的に近い	56	6.41	
	非定型的に近い	21	6.81	
	合計	500	6.50	
D.作業がはかどらず仕事が終わらない	定型的に近い	117	5.74	0.041
	やや定型的に近い	223	6.38	
	どちらともいえない	83	5.75	
	やや非定型的に近い	56	6.04	
	非定型的に近い	21	6.10	
	合計	500	6.07	
E.仕事上の間違いや失敗をする	定型的に近い	117	5.91	0.315
	やや定型的に近い	223	6.43	
	どちらともいえない	83	6.17	
	やや非定型的に近い	56	6.05	
	非定型的に近い	21	6.24	
	合計	500	6.21	
F.通勤での困難がある	定型的に近い	117	4.64	0.461
	やや定型的に近い	223	4.93	
	どちらともいえない	83	4.67	
	やや非定型的に近い	56	4.89	
	非定型的に近い	21	4.00	
	合計	500	4.78	
G.職場でのコミュニケーションがとりにくい	定型的に近い	117	4.89	0.048
	やや定型的に近い	223	5.56	
	どちらともいえない	83	5.66	
	やや非定型的に近い	56	5.61	
	非定型的に近い	21	6.05	
	合計	500	5.45	
H.他の社員の手助けや援助が必要である	定型的に近い	117	5.72	0.196
	やや定型的に近い	223	6.22	
	どちらともいえない	83	6.30	
	やや非定型的に近い	56	6.00	
	非定型的に近い	21	6.52	
	合計	500	6.10	

他部門と業務を調整する必要性:きわめて低い1~極めて高い10

表6 業務の特性(繰り返しが多い)とPresenteeisの影響(業務への影響:インパクト)の関係

		人数	平均値	P値
A.仕事(会議を含む)に集中できない	繰り返りに近い	128	5.20	0.507
	やや繰り返りに近い	227	5.52	
	どちらともいえない	93	5.45	
	やや繰り返しが少ない	42	5.74	
	繰り返しが少ないほう	10	6.20	
	合計	500	5.46	
B.仕事をするのに人より多く休憩を必要とする	繰り返りに近い	128	5.30	0.258
	やや繰り返りに近い	227	5.57	
	どちらともいえない	93	5.60	
	やや繰り返しが少ない	42	5.38	
	繰り返しが少ないほう	10	6.70	
	合計	500	5.51	
C.できる仕事の量や強度が少ない	繰り返りに近い	128	6.57	0.544
	やや繰り返りに近い	227	6.41	
	どちらともいえない	93	6.52	
	やや繰り返しが少ない	42	6.55	
	繰り返しが少ないほう	10	7.40	
	合計	500	6.50	
D.作業がはかどらず仕事が終わらない	繰り返りに近い	128	5.95	0.836
	やや繰り返りに近い	227	6.08	
	どちらともいえない	93	6.27	
	やや繰り返しが少ない	42	5.95	
	繰り返しが少ないほう	10	6.20	
	合計	500	6.07	
E.仕事上の間違いや失敗をする	繰り返りに近い	128	6.27	0.964
	やや繰り返りに近い	227	6.16	
	どちらともいえない	93	6.16	
	やや繰り返しが少ない	42	6.40	
	繰り返しが少ないほう	10	6.20	
	合計	500	6.21	
F.通勤での困難がある	繰り返りに近い	128	4.81	0.457
	やや繰り返りに近い	227	4.77	
	どちらともいえない	93	4.78	
	やや繰り返しが少ない	42	5.02	
	繰り返しが少ないほう	10	3.40	
	合計	500	4.78	
G.職場でのコミュニケーションがとりにくい	繰り返りに近い	128	5.23	0.329
	やや繰り返りに近い	227	5.36	
	どちらともいえない	93	5.66	
	やや繰り返しが少ない	42	5.95	
	繰り返しが少ないほう	10	6.00	
	合計	500	5.45	
H.他の社員の手助けや援助が必要である	繰り返りに近い	128	5.96	0.920
	やや繰り返りに近い	227	6.15	
	どちらともいえない	93	6.10	
	やや繰り返しが少ない	42	6.24	
	繰り返しが少ないほう	10	6.30	
	合計	500	6.10	

業務への影響:まったく影響しない1~非常に影響が大きい10

表7 業務と特性(繰り返しが多い)とPresenteeism(部課内で業務を調整する必要性)

		人数	平均値	P値
A.仕事(会議を含む)に集中できない	繰り返しに近い	128	5.39	0.192
	やや繰り返しに近い	227	5.81	
	どちらともいえない	93	6.03	
	やや繰り返しが少ない	42	5.90	
	繰り返しが少ないほう	10	5.00	
	合計	500	5.73	
B.仕事をするのに人より多く休憩を必要とする	繰り返しに近い	128	5.16	0.230
	やや繰り返しに近い	227	5.41	
	どちらともいえない	93	5.74	
	やや繰り返しが少ない	42	5.52	
	繰り返しが少ないほう	10	4.50	
	合計	500	5.40	
C.できる仕事の量や強度が少ない	繰り返しに近い	128	5.69	0.866
	やや繰り返しに近い	227	5.73	
	どちらともいえない	93	5.97	
	やや繰り返しが少ない	42	5.67	
	繰り返しが少ないほう	10	5.70	
	合計	500	5.76	
D.作業がはかどらず仕事が終わらない	繰り返しに近い	128	5.62	0.597
	やや繰り返しに近い	227	5.90	
	どちらともいえない	93	5.95	
	やや繰り返しが少ない	42	5.98	
	繰り返しが少ないほう	10	5.20	
	合計	500	5.83	
E.仕事上の間違いや失敗をする	繰り返しに近い	128	6.05	0.541
	やや繰り返しに近い	227	5.74	
	どちらともいえない	93	5.98	
	やや繰り返しが少ない	42	6.12	
	繰り返しが少ないほう	10	5.10	
	合計	500	5.88	
F.通勤での困難がある	繰り返しに近い	128	4.62	0.367
	やや繰り返しに近い	227	4.79	
	どちらともいえない	93	5.05	
	やや繰り返しが少ない	42	4.95	
	繰り返しが少ないほう	10	3.60	
	合計	500	4.79	
G.職場でのコミュニケーションがとりにくい	繰り返しに近い	128	4.91	0.195
	やや繰り返しに近い	227	5.34	
	どちらともいえない	93	5.68	
	やや繰り返しが少ない	42	5.38	
	繰り返しが少ないほう	10	5.40	
	合計	500	5.30	
H.他の社員の手助けや援助が必要である	繰り返しに近い	128	5.61	0.520
	やや繰り返しに近い	227	5.92	
	どちらともいえない	93	5.88	
	やや繰り返しが少ない	42	6.19	
	繰り返しが少ないほう	10	5.30	
	合計	500	5.84	

課内で業務を調整する必要性:きわめて低い1~極めて高い10

表8 業務と特性(繰り返しが多い)とPresenteeism(他部門と業務を調整する必要性)

		人数	平均値	P値
A.仕事(会議を含む)に集中できない	繰り返しに近い	128	5.21	0.128
	やや繰り返しに近い	227	5.37	
	どちらともいえない	93	5.74	
	やや繰り返しが少ない	42	5.83	
	繰り返しが少ないほう	10	4.20	
	合計	500	5.41	
B.仕事をするのに人より多く休憩を必要とする	繰り返しに近い	128	4.65	0.060
	やや繰り返しに近い	227	5.15	
	どちらともいえない	93	5.46	
	やや繰り返しが少ない	42	5.40	
	繰り返しが少ないほう	10	4.40	
	合計	500	5.09	
C.できる仕事の量や強度が少ない	繰り返しに近い	128	4.98	0.090
	やや繰り返しに近い	227	5.37	
	どちらともいえない	93	5.70	
	やや繰り返しが少ない	42	5.62	
	繰り返しが少ないほう	10	4.50	
	合計	500	5.33	
D.作業がはかどらず仕事が終わらない	繰り返しに近い	128	5.17	0.168
	やや繰り返しに近い	227	5.55	
	どちらともいえない	93	5.75	
	やや繰り返しが少ない	42	6.07	
	繰り返しが少ないほう	10	5.50	
	合計	500	5.53	
E.仕事上の間違いや失敗をする	繰り返しに近い	128	5.40	0.553
	やや繰り返しに近い	227	5.50	
	どちらともいえない	93	5.80	
	やや繰り返しが少ない	42	5.90	
	繰り返しが少ないほう	10	5.10	
	合計	500	5.55	
F.通勤での困難がある	繰り返しに近い	128	4.17	0.340
	やや繰り返しに近い	227	4.58	
	どちらともいえない	93	4.78	
	やや繰り返しが少ない	42	4.71	
	繰り返しが少ないほう	10	4.70	
	合計	500	4.53	
G.職場でのコミュニケーションがとりにくい	繰り返しに近い	128	4.69	0.083
	やや繰り返しに近い	227	5.18	
	どちらともいえない	93	5.25	
	やや繰り返しが少ない	42	5.76	
	繰り返しが少ないほう	10	5.00	
	合計	500	5.11	
H.他の社員の手助けや援助が必要である	繰り返しに近い	128	5.16	0.190
	やや繰り返しに近い	227	5.62	
	どちらともいえない	93	5.70	
	やや繰り返しが少ない	42	6.00	
	繰り返しが少ないほう	10	5.20	
	合計	500	5.54	

他部門と業務を調整する必要性: きわめて低い 1 ~ 極めて高い 10

表9 業務の特性(代替え可能性)とPresenteeisの影響(業務への影響:インパクト)の関係

		人数	平均値	P値
A.仕事(会議を含む)に集中できない	代わりの人ができるに近い	44	5.57	0.007
	やや代わりの人ができる	131	5.53	
	どちらともいえない	142	5.35	
	やや熟練者を要する	135	5.83	
	熟練者を要するほう	48	4.40	
	合計	500	5.46	
B.仕事をするのに人より多く休憩を必要とする	代わりの人ができるに近い	44	5.41	0.785
	やや代わりの人ができる	131	5.55	
	どちらともいえない	142	5.67	
	やや熟練者を要する	135	5.36	
	熟練者を要するほう	48	5.46	
	合計	500	5.51	
C.できる仕事の量や強度が少ない	代わりの人ができるに近い	44	6.48	0.140
	やや代わりの人ができる	131	6.30	
	どちらともいえない	142	6.35	
	やや熟練者を要する	135	6.69	
	熟練者を要するほう	48	6.98	
	合計	500	6.50	
D.作業がはかどらず仕事が終わらない	代わりの人ができるに近い	44	5.86	0.175
	やや代わりの人ができる	131	6.07	
	どちらともいえない	142	6.05	
	やや熟練者を要する	135	6.36	
	熟練者を要するほう	48	5.54	
	合計	500	6.07	
E.仕事上の間違いや失敗をする	代わりの人ができるに近い	44	6.00	0.301
	やや代わりの人ができる	131	6.26	
	どちらともいえない	142	6.18	
	やや熟練者を要する	135	6.45	
	熟練者を要するほう	48	5.69	
	合計	500	6.21	
F.通勤での困難がある	代わりの人ができるに近い	44	5.16	0.016
	やや代わりの人ができる	131	4.85	
	どちらともいえない	142	4.82	
	やや熟練者を要する	135	4.93	
	熟練者を要するほう	48	3.65	
	合計	500	4.78	
G.職場でのコミュニケーションがとりにくい	代わりの人ができるに近い	44	5.50	0.015
	やや代わりの人ができる	131	5.51	
	どちらともいえない	142	5.39	
	やや熟練者を要する	135	5.79	
	熟練者を要するほう	48	4.42	
	合計	500	5.45	
H.他の社員の手助けや援助が必要である	代わりの人ができるに近い	44	6.43	0.133
	やや代わりの人ができる	131	6.15	
	どちらともいえない	142	5.87	
	やや熟練者を要する	135	6.36	
	熟練者を要するほう	48	5.63	
	合計	500	6.10	

業務への影響:まったく影響しない1~非常に影響が大きい10

表10 業務と特性(代替え可能性)とPresenteeism(部課内で業務を調整する必要性)

		人数	平均値	P値
A.仕事(会議を含む)に集中できない	代わりの人ができるに近い	44	4.89	0.000
	やや代わりの人ができる	131	6.00	
	どちらともいえない	142	5.79	
	やや熟練者を要する	135	6.07	
	熟練者を要するほう	48	4.67	
	合計	500	5.73	
B.仕事をするのに人より多く休憩を必要とする	代わりの人ができるに近い	44	5.07	0.216
	やや代わりの人ができる	131	5.47	
	どちらともいえない	142	5.50	
	やや熟練者を要する	135	5.55	
	熟練者を要するほう	48	4.79	
	合計	500	5.40	
C.できる仕事の量や強度が少ない	代わりの人ができるに近い	44	5.61	0.681
	やや代わりの人ができる	131	5.72	
	どちらともいえない	142	5.80	
	やや熟練者を要する	135	5.91	
	熟練者を要するほう	48	5.44	
	合計	500	5.76	
D.作業がはかどらず仕事が終わらない	代わりの人ができるに近い	44	5.36	0.016
	やや代わりの人ができる	131	5.76	
	どちらともいえない	142	5.92	
	やや熟練者を要する	135	6.22	
	熟練者を要するほう	48	5.10	
	合計	500	5.83	
E.仕事上の間違いや失敗をする	代わりの人ができるに近い	44	5.91	0.298
	やや代わりの人ができる	131	5.90	
	どちらともいえない	142	5.85	
	やや熟練者を要する	135	6.12	
	熟練者を要するほう	48	5.25	
	合計	500	5.88	
F.通勤での困難がある	代わりの人ができるに近い	44	4.80	0.111
	やや代わりの人ができる	131	4.87	
	どちらともいえない	142	4.89	
	やや熟練者を要する	135	4.91	
	熟練者を要するほう	48	3.88	
	合計	500	4.79	
G.職場でのコミュニケーションがとりにくい	代わりの人ができるに近い	44	4.93	0.045
	やや代わりの人ができる	131	5.37	
	どちらともいえない	142	5.38	
	やや熟練者を要する	135	5.57	
	熟練者を要するほう	48	4.44	
	合計	500	5.30	
H.他の社員の手助けや援助が必要である	代わりの人ができるに近い	44	5.18	0.002
	やや代わりの人ができる	131	5.82	
	どちらともいえない	142	5.73	
	やや熟練者を要する	135	6.42	
	熟練者を要するほう	48	5.19	
	合計	500	5.84	

課内で業務を調整する必要性:きわめて低い1~極めて高い10

表11 業務と特性(代替え可能性)とPresenteeism(他部門と業務を調整する必要性)

		人数	平均値	P値
A.仕事(会議を含む)に集中できない	代わりの人ができるに近い	44	5.11	0.019
	やや代わりの人ができる	131	5.45	
	どちらともいえない	142	5.44	
	やや熟練者を要する	135	5.78	
	熟練者を要するほう	48	4.50	
	合計	500	5.41	
B.仕事をするのに人より多く休憩を必要とする	代わりの人ができるに近い	44	4.68	0.194
	やや代わりの人ができる	131	5.11	
	どちらともいえない	142	5.11	
	やや熟練者を要する	135	5.36	
	熟練者を要するほう	48	4.54	
	合計	500	5.09	
C.できる仕事の量や強度が少ない	代わりの人ができるに近い	44	4.91	0.072
	やや代わりの人ができる	131	5.37	
	どちらともいえない	142	5.33	
	やや熟練者を要する	135	5.66	
	熟練者を要するほう	48	4.71	
	合計	500	5.33	
D.作業がはかどらず仕事が終わらない	代わりの人ができるに近い	44	4.93	0.017
	やや代わりの人ができる	131	5.43	
	どちらともいえない	142	5.61	
	やや熟練者を要する	135	5.97	
	熟練者を要するほう	48	4.92	
	合計	500	5.53	
E.仕事上の間違いや失敗をする	代わりの人ができるに近い	44	5.05	0.065
	やや代わりの人ができる	131	5.56	
	どちらともいえない	142	5.55	
	やや熟練者を要する	135	5.93	
	熟練者を要するほう	48	4.96	
	合計	500	5.55	
F.通勤での困難がある	代わりの人ができるに近い	44	4.09	0.050
	やや代わりの人ができる	131	4.63	
	どちらともいえない	142	4.72	
	やや熟練者を要する	135	4.67	
	熟練者を要するほう	48	3.69	
	合計	500	4.53	
G.職場でのコミュニケーションがとりにくい	代わりの人ができるに近い	44	4.68	0.007
	やや代わりの人ができる	131	5.16	
	どちらともいえない	142	5.13	
	やや熟練者を要する	135	5.52	
	熟練者を要するほう	48	4.17	
	合計	500	5.11	
H.他の社員の手助けや援助が必要である	代わりの人ができるに近い	44	4.95	0.014
	やや代わりの人ができる	131	5.68	
	どちらともいえない	142	5.37	
	やや熟練者を要する	135	5.99	
	熟練者を要するほう	48	4.96	
	合計	500	5.54	

他部門と業務を調整する必要性:きわめて低い1~極めて高い10

表12 定型性と代替え可能性の組み合わせとPresenteeismの影響(業務への影響:インパクト)の関係

	人数	平均値	標準偏差	有意確率	
A. 仕事(会議を含む)に集中できない	定型代替え可能 a	32	5.4	2.8	< 0.000
	定型代替え中間 b	75	4.8	2.5	
	定型熟練 c, d	10	2.4	2.0	
	非定型代替え可能 c	12	5.9	2.7	
	非定型代替え中間 d	333	5.7	2.0	
	非定型熟練	38	4.9	3.1	
	合計	500	5.5	2.3	
B. 仕事をするのに人より多く休憩を必要とする	定型代替え可能	32	5.3	2.7	0.176
	定型代替え中間	75	5.2	2.2	
	定型熟練	10	4.2	1.7	
	非定型代替え可能	12	5.8	3.1	
	非定型代替え中間	333	5.6	1.8	
	非定型熟練	38	5.8	2.8	
	合計	500	5.5	2.0	
C. できる仕事の量や強度が少ない	定型代替え可能	32	6.6	2.4	0.061
	定型代替え中間	75	6.2	2.2	
	定型熟練	10	8.2	1.6	
	非定型代替え可能	12	6.2	2.6	
	非定型代替え中間	333	6.5	1.6	
	非定型熟練	38	6.7	2.3	
	合計	500	6.5	1.9	
D. 作業はかどらず仕事が終わらない	定型代替え可能	32	5.7	2.6	0.140
	定型代替え中間	75	5.9	2.1	
	定型熟練	10	4.9	2.4	
	非定型代替え可能	12	6.4	3.1	
	非定型代替え中間	333	6.2	1.8	
	非定型熟練	38	5.7	3.0	
	合計	500	6.1	2.1	
E. 仕事上の間違いや失敗をする	定型代替え可能	32	6.0	2.9	0.139
	定型代替え中間	75	6.0	2.1	
	定型熟練	10	4.6	2.3	
	非定型代替え可能	12	5.9	3.1	
	非定型代替え中間	333	6.4	1.9	
	非定型熟練	38	6.0	3.1	
	合計	500	6.2	2.2	
F. 通勤での困難がある	定型代替え可能 a	32	5.3	3.0	0.007
	定型代替え中間	75	4.6	2.6	
	定型熟練 a	10	2.6	2.0	
	非定型代替え可能	12	4.8	2.9	
	非定型代替え中間	333	4.9	2.2	
	非定型熟練	38	3.9	2.9	
	合計	500	4.8	2.4	
G. 職場でのコミュニケーションがとりにくい	定型代替え可能	32	5.3	3.0	< 0.000
	定型代替え中間 b	75	5.0	2.5	
	定型熟練 b, c	10	2.9	2.5	
	非定型代替え可能 c	12	6.0	3.0	
	非定型代替え中間 d	333	5.7	2.1	
	非定型熟練 e	38	4.8	2.9	
	合計	500	5.4	2.3	
H. 他の社員の手助けや援助が必要である	定型代替え可能	32	6.2	2.5	0.021
	定型代替え中間	75	5.5	2.4	
	定型熟練	10	5.9	3.3	
	非定型代替え可能	12	7.2	2.3	
	非定型代替え中間	333	6.3	1.9	
	非定型熟練	38	5.6	3.1	
	合計	500	6.1	2.2	

a:「定型代替え可能」と「定型熟練」間の有意な差があるもの

b:「定型代替え中間」と「定型熟練」間の有意な差があるもの

c:「非定型代替え可能」と「定型熟練」間の有意な差があるもの

d:「非定型代替え中間」と「定型熟練」間の有意な差があるもの

e:「非定型熟練」と「定型熟練」間の有意な差があるもの

表13 定型性と代替可能性の組み合わせとPresenteeism(部課内で業務を調整する必要性)

	人数	平均値	標準偏差	有意確率
A. 仕事(会議を含む)に集中できない	定型代替可能	32	4.7	2.7
	定型代替中間	75	5.6	2.6
	定型熟練	10	3.4	2.2
	非定型代替可能	12	5.5	2.5
	非定型代替中間	333	6.0	1.9
	非定型熟練	38	5.0	3.0
合計	500	5.7	2.3	<0.000
B. 仕事をするのに人より多く休憩を必要とする	定型代替可能	32	4.7	2.4
	定型代替中間	75	5.1	2.4
	定型熟練	10	3.4	2.1
	非定型代替可能	12	6.0	2.7
	非定型代替中間	333	5.6	2.0
	非定型熟練	38	5.2	2.9
合計	500	5.4	2.2	0.004
C. できる仕事の量や強度が少ない	定型代替可能	32	5.3	2.5
	定型代替中間	75	5.5	2.0
	定型熟練	10	4.5	2.9
	非定型代替可能	12	6.4	2.0
	非定型代替中間	333	5.9	1.8
	非定型熟練	38	5.7	2.8
合計	500	5.8	2.0	0.128
D. 作業がはかどらず仕事が終わらない	定型代替可能	32	5.0	2.6
	定型代替中間	75	5.6	2.2
	定型熟練	10	4.2	2.9
	非定型代替可能	12	6.3	2.4
	非定型代替中間	333	6.1	2.0
	非定型熟練	38	5.3	2.8
合計	500	5.8	2.2	0.005
E. 仕事上の間違いや失敗をする	定型代替可能	32	5.8	2.7
	定型代替中間	75	5.7	2.7
	定型熟練	10	4.7	2.4
	非定型代替可能	12	6.1	2.8
	非定型代替中間	333	6.0	2.1
	非定型熟練	38	5.4	3.3
合計	500	5.9	2.3	0.368
F. 通勤での困難がある	定型代替可能	32	4.7	2.9
	定型代替中間	75	4.5	2.7
	定型熟練	10	2.7	2.4
	非定型代替可能	12	5.2	2.9
	非定型代替中間	333	5.0	2.2
	非定型熟練	38	4.2	3.1
合計	500	4.8	2.4	0.023
G. 職場でのコミュニケーションがとりにくい	定型代替可能	32	4.6	2.7
	定型代替中間	75	4.8	2.6
	定型熟練	10	2.1	2.1
	非定型代替可能	12	5.8	3.0
	非定型代替中間	333	5.6	2.0
	非定型熟練	38	5.1	3.1
合計	500	5.3	2.3	<0.000
H. 他の社員の手助けや援助が必要である	定型代替可能	32	4.7	3.0
	定型代替中間	75	5.7	2.5
	定型熟練	10	4.6	3.6
	非定型代替可能	12	6.5	2.3
	非定型代替中間	333	6.1	1.9
	非定型熟練	38	5.3	3.2
合計	500	5.8	2.2	0.003

- a:「定型代替可能」と「定型熟練」間の有意な差があるもの
- b:「定型代替中間」と「定型熟練」間の有意な差があるもの
- c:「非定型代替可能」と「定型熟練」間の有意な差があるもの
- d:「非定型代替中間」と「定型熟練」間の有意な差があるもの
- e:「非定型熟練」と「定型熟練」間の有意な差があるもの

表14 定型性と代替可能性の組み合わせとPresenteeism (他部門と業務を調整する必要性)

	人数	平均値	標準偏差	有意確率
A. 仕事(会議を含む)に集中できない	定型代替可能	32	4.7	2.6
	定型代替中間	75	5.3	2.6
	定型熟練	10	3.9	2.4
	非定型代替可能	12	6.3	2.6
	非定型代替中間	333	5.6	2.0
	非定型熟練	38	4.7	3.1
	合計	500	5.4	2.3
B. 仕事をするのに人より多く休憩を必要とする	定型代替可能	32	4.3	2.5
	定型代替中間	75	4.6	2.5
	定型熟練	10	3.2	2.5
	非定型代替可能	12	5.8	3.3
	非定型代替中間	333	5.3	2.0
	非定型熟練	38	4.9	2.9
	合計	500	5.1	2.3
C. できる仕事の量や強度が少ない	定型代替可能	32	4.3	2.2
	定型代替中間	75	4.9	2.4
	定型熟練	10	3.5	2.8
	非定型代替可能	12	6.5	2.0
	非定型代替中間	333	5.6	2.0
	非定型熟練	38	5.0	2.9
	合計	500	5.3	2.2
D. 作業がはかどらず仕事が終わらない	定型代替可能	32	4.4	2.4
	定型代替中間	75	5.1	2.3
	定型熟練	10	3.7	3.2
	非定型代替可能	12	6.3	2.5
	非定型代替中間	333	5.8	2.0
	非定型熟練	38	5.2	3.0
	合計	500	5.5	2.3
E. 仕事上の間違いや失敗をする	定型代替可能	32	4.8	2.8
	定型代替中間	75	5.2	2.5
	定型熟練	10	4.0	3.3
	非定型代替可能	12	5.7	2.6
	非定型代替中間	333	5.8	2.1
	非定型熟練	38	5.2	3.0
	合計	500	5.6	2.3
F. 通勤での困難がある	定型代替可能	32	3.9	2.5
	定型代替中間	75	4.1	2.6
	定型熟練	10	2.7	2.3
	非定型代替可能	12	4.6	2.8
	非定型代替中間	333	4.8	2.2
	非定型熟練	38	3.9	2.6
	合計	500	4.5	2.3
G. 職場でのコミュニケーションがとりにくい	定型代替可能	32	4.5	2.6
	定型代替中間	75	4.7	2.4
	定型熟練	10	2.2	2.0
	非定型代替可能	12	5.3	3.0
	非定型代替中間 b	333	5.4	2.0
	非定型熟練	38	4.7	3.0
	合計	500	5.1	2.3
H. 他の社員の手助けや援助が必要である	定型代替可能	32	4.4	2.8
	定型代替中間	75	5.3	2.4
	定型熟練	10	3.5	3.5
	非定型代替可能	12	6.3	2.5
	非定型代替中間	333	5.8	2.0
	非定型熟練	38	5.3	3.1
	合計	500	5.5	2.3

a:「定型代替可能」と「定型熟練」間の有意な差があるもの

b:「定型代替中間」と「定型熟練」間の有意な差があるもの

c:「非定型代替可能」と「定型熟練」間の有意な差があるもの

d:「非定型代替中間」と「定型熟練」間の有意な差があるもの

e:「非定型熟練」と「定型熟練」間の有意な差があるもの

表15 調査1におけるpresenteeismの平均値（性別）

presenteeism	性別	人数	平均値	標準偏差	p
A. 仕事(会議を含む)に集中できない	男性	535	2.28	.883	0.762
	女性	324	2.27	.868	
B. 仕事をするのに人より多く休憩を必要とする	男性	535	2.11	.860	0.751
	女性	324	2.13	.929	
C. できる仕事の量や強度が少ない	男性	535	2.03	.833	0.731
	女性	324	2.05	.890	
D. 作業がはかどらず仕事が終わらない	男性	535	2.07	.879	0.206
	女性	324	2.00	.864	
E. 仕事上の間違いや失敗をする	男性	535	2.02	.807	0.859
	女性	324	2.01	.810	
F. 通勤での困難がある	男性	535	1.67	.708	0.659
	女性	324	1.70	.772	
G. 職場でのコミュニケーションがとりにくい	男性	535	1.86	.806	0.625
	女性	324	1.89	.857	
H. 他の社員の手助けや援助が必要である	男性	535	1.66	.707	0.83
	女性	324	1.65	.767	

表16 調査1におけるpresenteeismの平均値（年代別）

		度数	平均値	標準偏差	p
A. 仕事(会議を含む)に集中できない	20歳代	64	2.4	0.9	< 0.000
	30歳代	205	2.3	0.9	
	40歳代	290	2.4	0.9	
	50歳代	245	2.2	0.8	
	60歳代以上	55	1.8	0.8	
	合計	859	2.3	0.9	
B. 仕事をするのに人より多く休憩を必要とする	20歳代	64	2.2	1.0	< 0.000
	30歳代	205	2.2	0.9	
	40歳代	290	2.2	0.9	
	50歳代	245	2.0	0.8	
	60歳代以上	55	1.7	0.7	
	合計	859	2.1	0.9	
C. できる仕事の量や強度が少ない	20歳代	64	2.1	0.9	0.023
	30歳代	205	2.1	0.9	
	40歳代	290	2.1	0.8	
	50歳代	245	2.0	0.8	
	60歳代以上	55	1.7	0.8	
	合計	859	2.0	0.9	
D. 作業がはかどらず仕事が終わらない	20歳代	64	2.0	0.9	< 0.000
	30歳代	205	2.1	0.9	
	40歳代	290	2.2	0.9	
	50歳代	245	2.0	0.9	
	60歳代以上	55	1.6	0.7	
	合計	859	2.0	0.9	
E. 仕事上の間違いや失敗をする	20歳代	64	2.0	0.8	0.002
	30歳代	205	2.1	0.8	
	40歳代	290	2.1	0.8	
	50歳代	245	1.9	0.8	
	60歳代以上	55	1.7	0.7	
	合計	859	2.0	0.8	
F. 通勤での困難がある	20歳代	64	1.8	0.8	0.202
	30歳代	205	1.7	0.8	
	40歳代	290	1.7	0.8	
	50歳代	245	1.6	0.7	
	60歳代以上	55	1.6	0.6	
	合計	859	1.7	0.7	
G. 職場でのコミュニケーションがとりにくい	20歳代	64	1.9	0.9	0.003
	30歳代	205	1.9	0.9	
	40歳代	290	2.0	0.9	
	50歳代	245	1.8	0.8	
	60歳代以上	55	1.6	0.6	
	合計	859	1.9	0.8	
H. 他の社員の手助けや援助が必要である	20歳代	64	1.6	0.8	0.014
	30歳代	205	1.7	0.7	
	40歳代	290	1.7	0.8	
	50歳代	245	1.6	0.7	
	60歳代以上	55	1.5	0.5	
	合計	859	1.7	0.7	

表17 調査1における年代別の違い（60歳代以上と60歳未満の比較）

年代60以上	人数	平均値	標準偏差	p	年齢補正值*	
A. 仕事(会議を含む)に集中できない	20-50歳代 60歳代	804 55	2.3 1.8	0.9 0.8	<0.000	0.78
B. 仕事をするのに人より多く休憩を必要とする	20-50歳代 60歳代	804 55	2.1 1.7	0.9 0.7		
C. できる仕事の量や強度が少ない	20-50歳代 60歳代	804 55	2.1 1.7	0.9 0.8	0.008	0.81
D. 作業がはかどらず仕事が終わらない	20-50歳代 60歳代	804 55	2.1 1.6	0.9 0.7	<0.000	0.76
E. 仕事上の間違いや失敗をする	20-50歳代 60歳代	804 55	2.0 1.7	0.8 0.7	0.001	0.85
F. 通勤での困難がある	20-50歳代 60歳代	804 55	1.7 1.6	0.7 0.6	0.495	1
G. 職場でのコミュニケーションがとりにくい	20-50歳代 60歳代	804 55	1.9 1.6	0.8 0.6	0.004	0.84
H. 他の社員の手助けや援助が必要である	20-50歳代 60歳代	804 55	1.7 1.5	0.7 0.5	0.038	0.88

* 回答者が60歳以上の場合は上司の評価得点を年齢補正值で割り算する

例1. 非定型・代替え中間型の業務

A. 仕事(会議を含む)に集中できない	よくある	$-4 \times 5.7 = 5.7$
B. 仕事をするのに人より多く休憩を必要とする	時々	$-0 \times 5.6 = 0$
C. できる仕事の量や強度が少ない	時々	$-0 \times 6.5 = 0$
D. 作業がはかどらず仕事が終わらない	よくある	$-4 \times 6.2 = 6.2$
E. 仕事上の間違いや失敗をする	よくある	$-4 \times 6.4 = 6.4$
F. 通勤での困難がある	あまりない	$-0 \times 4.9 = 0$
G. 職場でのコミュニケーションがとりにくい	よくある	$-4 \times 5.7 = 5.7$
H. 他の社員の手助けや援助が必要である	まったくない	$-0 \times 6.3 = 0$
合計 4 項目		$(24 \times 1.25) - 10 = \underline{20}$ ポイント

例2 定型熟練型

A. 仕事(会議を含む)に集中できない	よくある	$1 \times 2.4 = 2.4$
B. 仕事をするのに人より多く休憩を必要とする	時々	$0 \times 4.2 = 0$
C. できる仕事の量や強度が少ない	時々	$0 \times 8.2 = 0$
D. 作業がはかどらず仕事が終わらない	よくある	$1 \times 4.9 = 4.9$
E. 仕事上の間違いや失敗をする	よくある	$1 \times 4.9 = 4.9$
F. 通勤での困難がある	あまりない	$0 \times 2.6 = 0$
G. 職場でのコミュニケーションがとりにくい	よくある	$1 \times 2.9 = 2.9$
H. 他の社員の手助けや援助が必要である	まったくない	$0 \times 5.9 = 0$
合計 4 項目		$(15.1 \times 1.25) - 10 = \underline{8.875}$ ポイント

ト

各 presenteeism 項目に「よくある」と回答した場合に1点を計上し、それ以外を0点とする。各 presenteeism 項目に上司が業務への影響として挙げた10段階の得点を乗算する。乗算した得点を1.25倍し、さらに10ポイント引き算をする。

図1. 業務の特徴による presenteeism の職場への影響の違い

例 1. 非定型・代替え中間型の業務

A. 仕事(会議を含む)に集中できない	よくある	$1 \times 5.7 \div 0.78 = 7.3$
B. 仕事をするのに人より多く休憩を必要とする	時々	$0 \times 5.6 \div 0.81 = 0$
C. できる仕事の量や強度が少ない	時々	$0 \times 6.5 \div 0.81 = 0$
D. 作業がはかどらず仕事が終わらない	よくある	$1 \times 6.2 \div 0.76 = 8.2$
E. 仕事上の間違いや失敗をする	よくある	$1 \times 6.4 \div 0.85 = 7.5$
F. 通勤での困難がある	あまりない	$0 \times 4.9 \div 1 = 0$
G. 職場でのコミュニケーションがとりにくい	よくある	$1 \times 5.7 \div 0.84 = 6.8$
H. 他の社員の手助けや援助が必要である	まったくない	$0 \times 6.3 \div 0.88 = 0$

合計 4項目 $29.8 \times 1.25 - 10 = \underline{27.3}$ ポイント

60歳代以上の場合は、そのポイントを(表17)の値で除法する。

図2 60歳以上の場合の業務の特徴による presenteeism の職場への影響

問1 あなたの性別を教えてください

- 男性
- 女性

問2 あなたの年齢を教えてください

()歳

問3 あなたのグループ、係り、課の主な業務は下記のどれに当てはまりますか

A.定型的な業務が多い / B.否定形的な業務が多い

- 1. Aに近い
- 2. ややAに近い
- 3. どちらともいえない
- 4. ややBに近い
- 5. Bに近い

C.代わりの人ができる / D.熟練者を必要とする

- 1. Cに近い
- 2. ややCに近い
- 3. どちらともいえない
- 4. ややDに近い
- 5. Dに近い

問4 あなたの最近一か月間の健康状態についてお聞きます

4-1 最近1か月に普段の仕事をするにあたって、身体的な理由で下記のような問題がありましたか

普段通りの仕事が思ったほどできなかった

- 1. いつも
- 2. ほとんどいつも
- 3. ときどき
- 4. まれに
- 5. ぜんぜんない

4-2 4-1 最近1か月に普段の仕事をするにあたって、精神的な理由で下記のような問題がありましたか

普段通りの仕事が思ったほどできなかった

- 1. いつも
- 2. ほとんどいつも
- 3. ときどき
- 4. まれに
- 5. ぜんぜんない

4-3 4-1・4-2でいつもお世話になります。～まれにと答えられた方にお聞きます。

身体的・精神的な理由はどのようなものですか？ 当てはまるものはすべてお答えください

	当てはまる	当てはまらない
目が見えにくい		
耳が聞こえにくい		
鼻詰まりや目のかゆみがある(花粉症などの症状)		
関節(ひざ、ひじ)に痛みがある		
四肢にだるさやむくみがある		
腰痛がある		
肩こりがある		
頭痛がある		
腹痛・胃痛や胃の不快感がある		
不眠がある		
ゆううつ感や焦り感がある		
皮膚にかゆみや痛みがある		
便秘や下痢がある		
吐き気や食欲不振がある		
ほてり感や寒気がある		
その他		

問5 あなたはこの1か月間で、上記の<身体的・精神的な不調>によって下記のような仕事への影響を感じたことがありますか

	よくある4	時々ある3	あまりない2	全くない1
A.会議や仕事に集中できない				
B.普段より多く休憩(睡眠含む)を取りながら仕事をする				
C.仕事の量や強度を普段より少なくする				
D.作業がはかどらず仕事が終わらない				
E.仕事上の間違いや失敗をする				
F.通勤での困難がある				
G.職場でのコミュニケーションがとりにくい				
H.他の社員の手助けや援助を必要とする				

問6 あなたはこの1か月間で、上記の<身体的・精神的な不調>によって通院や休暇をどれくらいとりましたか

合計 日
あるいは 時間

図3 日本版presenteeism尺度

問1 あなたの性別を教えてください
 男性
 女性

問2 あなたの年齢を教えてください
 ()歳

問3 あなたのグループ、係り、課の主な業務は下記のどれに当てはまりますか
 A.定型的な業務が多い / B.否定形的な業務が多い

1. Aに近い
2. ややAに近い
3. どちらともいえない
4. ややBに近い
5. Bに近い

A/Bは1と回答した場合は定型型に区分
 A/Bは2～5と回答した場合は非定型型の区分

C.代わりの人ができる / D.熟練者を必要とする

1. Cに近い
2. ややCに近い
3. どちらともいえない
4. ややDに近い
5. Dに近い

C/Dは1と回答した場合は代替え可能に区分
 2～4とした場合は代替え可能性中間に区分
 5とした場合は熟練者に区分

	代替え可能	代替え中間	熟練
定型	定型代替え可能	定型代替え中間	定型熟練
非定型	非定型代替え可能	非定型代替え中間	非定型熟練

問4 あなたの最近1か月間の健康状態についてお聞きします

4-1 最近1か月間に普段の仕事をするにあたって、身体的な理由で下記のような問題がありましたか

普段通りの仕事思ったほどできなかった

1. いつも
2. ほとんどいつも
3. ときどき
4. まれに
5. ぜんぜんない

4-2 4-1 最近1か月間に普段の仕事をするにあたって、精神的な理由で下記のような問題がありましたか

普段通りの仕事思ったほどできなかった

1. いつも
2. ほとんどいつも
3. ときどき
4. まれに
5. ぜんぜんない

4-3 4-1・4-2でいつもお世話になります。～まれにと答えられた方にお聞きします。

身体的・精神的な理由はどのようなものですか？ 当てはまるものはすべてお答えください

	当てはまる	当てはまらない
目が見えにくい		
耳が聞こえにくい		
鼻詰まりや目のかゆみがある(花粉症などの症状)		
関節(ひざ、ひじ)に痛みがある		
四肢にだるさやむくみがある		
腰痛がある		
肩こりがある		
頭痛がある		
腹痛・胃痛や胃の不快感がある		
不眠がある		
ゆううつ感や焦り感がある		
皮膚にかゆみや痛みがある		
便秘や下痢がある		
吐き気や食欲不振がある		
ほてり感や寒気がある		
その他		

問5 あなたはこの1か月間で、上記の<身体的・精神的な不調>によって下記のような仕事への影響を感じたことがありますか

	よくある3	時々ある2	あまりない1	全くない0	1ポイントに×係数				
					A定型代替え可能	B定型代替え中間	C定型熟練	D非定型代替え可能	E非定型代替え中間
A会議や仕事に集中できない	5.4	4.8	2.4	5.9	5.7	4.9	0.8		
B普段より多く(休憩(睡眠含む))を取りながら仕事をする	5.3	5.2	4.2	5.8	5.6	5.8	0.81		
C仕事の量や強度を普段より少なくする	6.6	6.2	8.2	6.2	6.5	6.7	0.8		
D作業がはかどらず仕事が終わらない	6.6	6.2	8.2	6.2	6.5	6.7	0.8		
E仕事上の間違いや失敗をする	6.0	6.0	4.6	5.9	6.4	6.0	0.9		
F通勤での困難がある	5.3	4.6	2.6	4.8	4.9	3.9	1.0		
G職場でのコミュニケーションがとりにくい	5.3	5.0	2.9	6.0	5.7	4.8	0.9		
H他の社員の手助けや援助を必要とする	6.2	5.5	5.9	7.2	6.3	5.6	0.9		

問6 あなたはこの1か月間で、上記の<身体的・精神的な不調>によって通院や休暇をどれくらいとりましたか

合計 () 日
 あるいは () 時間

計算式1 個人のpresenteeismの計算

(問5のA～Hの点数の合計) × 4.13

計算式2 個人のpresenteeismの職場への影響(インパクト)の計算

問5のよくあるのみ1ポイントとして換算し、各項目の係数を掛け算する

回答者が60歳以上の場合は の値をキの欄の値で割り算をする

で出したA-Hの得点を合計する

で出した合計点に1.25を掛け算する

で出した値から10を引き算する

図4 日本版presenteeism尺度と算出方法